

操作手順

■送信機と受信機の設定

(1) 経路探索を行いたい分電盤に、「送信機」の電源クリップを接続します。

- ・単相の場合(100Vまたは200V)  
L1相とL2相または、L1(L2)相とN相に接続します。
- ・三相の場合(200V)  
R、S、Tのいずれか2相に接続します。

(2) 電源スイッチを入れます。

(3) 受電点(キュービクル、配線盤等)の各遮断器の2次側フィーダーを「受信機」に接続している「クランプCT」でクランプし、経路探索信号を検出します。

■受信機の操作方法

(1) 電源の投入

- ・赤ボタン<sup>①</sup>(計測/電源)を2秒以上押し、LED<sup>②</sup>に周波数「50」が表示されます。

(2) 周波数の選択

- ・電源周波数が50Hzの地域で使用する場合は周波数「50」が表示されていることを確認します。
- ・電源周波数が60Hzの地域で使用する場合は、緑ボタン<sup>③</sup>を押して、周波数「60」が表示されていることを確認します。
- ・緑ボタン<sup>③</sup>を押すたびに、「50」→「60」→「50」→「60」…を交互に表示します。

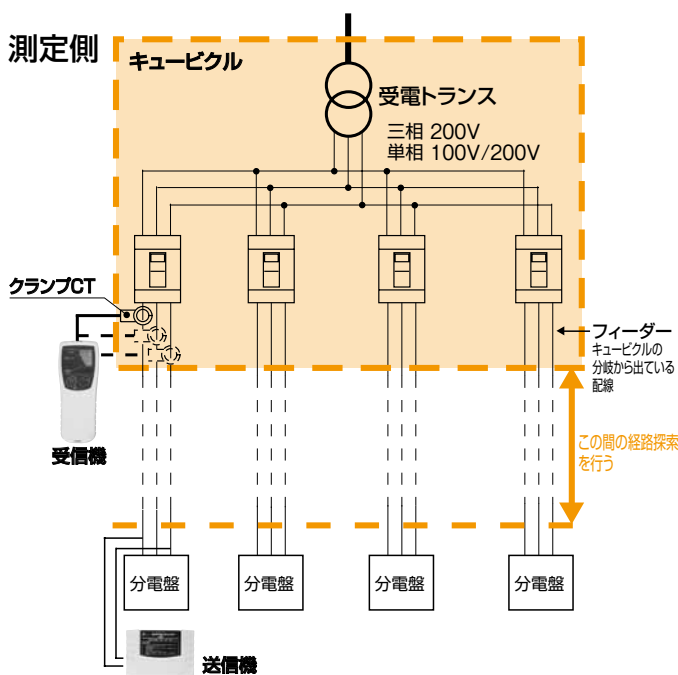
以上で、セット完了です。

※注 周波数設定が間違っていた場合、経路探索信号を検出できず正しく経路探索できません。



測定方法

- (1) 電源周波数を表示させた状態で、計測を行う1番目の電線を「クランプCT」でクランプします。
- (2) 赤ボタン<sup>①</sup>(計測/電源)を押します。
- (3) 計測を開始し、回路番号表示<sup>②</sup>がクルクルと回って経路探索信号を検出します。
- (4) 計測を終了すると、「ピッ」とブザーが鳴り受信レベルと回路番号(LEDに「1-」)を表示します。
- (5) 同様に2番目3番目の電線を計測。計測を終了するとLEDに回路番号(「2-」「3-」)を表示します。  
※送信機が接続された分岐であれば受信レベルが強く表示されます。送信機が接続されていない分岐では弱く表示されます。(受信レベルは5段階で表示されます。)
- (6) 同一フィーダー(ブレーカー2次側の電線3本)ですべての電線を計測した後、緑ボタン<sup>③</sup>(登録/呼出)を押して、計測値を登録します。LED表示は「01」となります。(分岐回路番号登録)
- (7) 同様に同一バンクの全フィーダー(ブレーカー2次側の電線3本)の計測を行い登録します。
- (8) すべての計測が終了したら、緑ボタン<sup>③</sup>(登録/呼出)を押すことで、登録された中から最も受信レベルが強かった分岐回路番号とその受信レベル、また二番目、三番目に受信レベルの強かった分岐回路番号とその受信レベルを表示します。(回路の特定)



付属品単体価格(補修用部品価格)

|         |              |
|---------|--------------|
| 名称      | 受信機充電用ACアダプタ |
| ご注文品番   | ECB1AAD      |
| 納期区分    | ⑤            |
| 標準価格(円) | 1,600        |